

国際協力学修士ゼミナール、博士ゼミナールについて（佐藤ゼミ）

「主題と目標」：社会科学の方法論

さまざまな社会問題に「研究」という立場から接近し、働きかけるうえでの大局的な視点と、研究の組み立てを学ぶ。また、研究構想を作り上げるうえで「仮説形成」のプロセスを重視し、仮説を立てることの意味について理解を深める。具体的には、帰納、演繹、アブダクションといった主要な思考方法をサーベイしたうえで、それぞれの長所と短所を学ぶ。修士論文執筆者、博士論文執筆者による研究発表を適宜おりませ、論文執筆の理想と現実についても一緒に悩みたい。

「内容」

輪読および院生による研究発表を中心に議論を行う。

「成績評価方法」

半年間で3回以上欠席すると優がつかない。2回欠席までの学生については、議論への貢献度を教員が判断し、優ないしは良がつく。

「教科書・参考書等」

ゼミの初回に指定する。

「受講に関する要件等」

自分が勉強するだけでなく、議論に貢献すること、議論を喚起すること。この意欲があることが受講の要件である。理系、文系などの所属上の履歴は一切問わない。履修は原則毎学期受講するものとし、長期フィールドワークの必要性など特別の事情があるときには個別に対応を考える。

International Studies Seminar I-IV

Doctoral Research Seminar I-VI

Instructor: Jin Sato, Institute for Advanced Studies on Asia

Objective:

The major objective of this seminar is to let students understand the importance and skills for asking the right research question and apply such skills to their thesis and dissertations. Through readings and discussion on research methodologies, occasional guest presentations, practice presentation by the students, and the instructor's own research findings, participants are expected to learn where and how to improve their research capacity.

Readings:

To be announced at the first seminar meeting at each semester.

For Ph.D. Students:

Depending on the needs and desires of the students, a special meeting for polishing the drafts may be organized.

Evaluations:

Evaluations will be based on the level of participation in the seminar.